



平成 23 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 稲葉製作所
代表者名 代表取締役社長 稲葉 明
(コード番号 3421 東証第一部)
問合せ先 取締役総務部長 多田 一志
(TEL. 03-3759-5201)

東北地方太平洋沖地震の影響に関するお知らせ (第 2 報)

平成 23 年 3 月 11 日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。

さて、3 月 14 日に開示いたしました当社業務への影響につきまして、現状を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 被害の状況について

- (1) 仙台営業所および東北配送センター（宮城県仙台市若林区）および郡山配送センター（福島県郡山市）

営業所、各配送センターともに建物には特に大きな被害はありませんでした。しかし、製品の荷崩れにより、一部製品に損傷が発生しました。現在、倉庫内を整理中ですが、その損害については、軽微であります。また、電気・水道が復旧したことに伴い 3 月 22 日より営業を再開しており、3 月 23 日には出荷業務も再開しております。

- (2) 柏工場、千葉営業所および柏配送センター（千葉県柏市）

工場につきましては、塗装乾燥炉内のレンガ崩れおよび入出荷用スロープの一部に被害を受けましたが、3 月 17 日までに応急措置を行い、3 月 18 日より稼働しております。しかし、あくまで各々は応急措置であり、今後は、5 月の連休、8 月の盆休等を利用して、本格的修理を行う方針であります。応急措置費用は、軽微ですが、本格的修理を行う際の費用は、現在未定の状況であります。

また、営業所および配送センターは、地震発生後も通常どおり業務を行っております。製品の荷崩れにより、一部製品に損傷が発生し、現在、倉庫内を整理中ですが、その損害については、軽微であります。

なお、従業員につきましては、3 月 14 日に全員無事を確認し、既に開示させて頂いております。

2. 業績への影響について

この地震による業績の影響につきましては、当社の工場、営業所および配送センター自体は、応急措置等により操業を再開しており、かつ「1. 被害の状況について」で説明のとおり被害も概ね軽微でありますものの、現地の原材料を確保するための道路、物流、ガソリン等の諸事情および計画停電の実施による影響が依然として厳しいものがあり、仕入先等の協力工場の個々の事情等により、今後、開示すべき事象が発生した場合は速やかに開示いたします。

以 上